

川島ホスピタルグループでは、腹膜透析液メニュー調整における人工知能（AI）の臨床応用に関する調査を行っております。

調査名称

腹膜透析液メニュー調整における人工知能（AI）の臨床応用

調査の背景

近年、様々な分野に普及している人工知能（AI）野にも進出してきています。医療は専門領域が深く多岐にわたり、要求される知識の量も多いため、AIの応用は診断エラーの低減に大きく貢献すると考えられると共に、医療従事者の大きな助けになり、患者個人にとっても正確で個別化された医療を提供できることとなります。

調査の目的

腹膜透析患者における腹膜透析液処方・メニュー調整 AI を導入することにより、腹膜透析管理が簡便になり、PD 普及の一助になる可能性があります。

調査の内容

対象・方法：川島ホスピタルグループで腹膜透析を施行している患者を対象とし、対象患者における以下のデータについて、後方視的に病院診療録から抽出し、その後、「Mathematica」という数式処理ソフトウェアを用いて深層学習（ディープラーニング）を行います。

[抽出データ項目]

- ・患者基本情報：性、年齢、身長、体重、血圧、浮腫の程度、残腎機能（尿量）
- ・疾患情報：原疾患、透析歴、投与薬、合併症（糖尿病、心疾患など）
- ・胸部レントゲン心胸比
- ・心エコー検査結果（LVEF, E/E', TRPG, IVC, SV, RVSP など）
- ・fast PET (D/P Cr), KT/V

研究対象者となる皆様へ（注意事項）

1. この調査のための採血や検査は必要ありません。
2. 調査は2020年4月14日～2022年12月31日まで（期間）です。

個人情報の保護について

この調査のために、調査協力者が研究対象者となる方のカルテなどを閲覧しますが、研究対象者のお名前など個人を特定する情報は決して院外に漏れることはありません。

また、この調査の結果は、専門学会や研究会での発表、医学雑誌に掲載する予定ですが、研究対象者となる方のお名前など個人を特定する情報は発表されません。

問合せ先 川島病院 腎臓内科 電話：088-631-0110

研究代表者 井上 朋子